公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE）
〒220-0012　横浜市西区みなとみらい 1-1-1　パシフィコ横浜　横浜国際協力センター 5 階
TEL　045-222-1171（代表）　FAX　045-222-1187
E-mail　yoke@yoke.or.jp
URL　https://www.yokeweb.com

ヨークピア
編集・発行　公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）　**発行日**　2022年7月5日　263号

日本人 x 外国人　多文化共生のまちづくりを伝える

ヨークピア

263 号
2022 年 7 月

-Contets-

YOKE 日本語教室…P1 ～ P4
ysf-SDGs に国際機関と共に参加してきました…P5
横浜市多文化共生総合相談センター 相談の現場から…P6
ウクライナ交流カフェ「ドゥルーズィ」…P6

YOKE 日本語教室

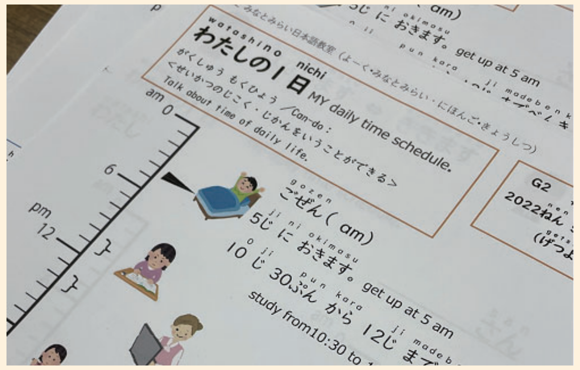
日本語学習コーディネーター
高山　麻紀　　　野俣　恭子

YOKE では、日本語を勉強することが初めての人や日本語を少し話すことができる人を対象とした「YOKE 日本語教室」を開催しています。対面（みなとみらい教室）とオンライン教室の 2 つの参加方法があり、学習者は自分の生活にあった参加方法を選択することができます。教室の目的はどちらも同じです。YOKE 日本語教室開催における運営者・サポーターの思いや教室の様子、学習者の声を紹介します。「横浜に暮らす外国人のみなさんの生活が豊かになる」ことを目指した YOKE 日本語教室についてご覧ください。

YOKE 日本語教室の特徴を教えてください。

野俣　まず大事にしていることは「人とつながる」ことです。日本語を使ってコミュニケーションをとっていくことでつながっていくことを一番大切に考えています。（外国人の方から）「日本語を上手に話せないから」という声を聞きますが、その方が持っている言葉、たとえ単語であっても自分の言いたいことを伝える、伝えあうことの喜びを感じてもらい、そして社会でもつながって「日本語を使いたいな」と思える、そういうところを原点にしています。

高山　YOKE 日本語教室の特徴は、テキストがないことです。日本語サポーター（以下、サポーター）が学習者に勉強したいことを聞きながら、学習者の希望に応じた教材を作成します。その教材をきっかけに学習者とコミュニケーションをとっていきます。一方的に「教える」、受動的に「教わる」という方法はとりません。サポーターが学習者とコミュニケーションをとりながら進めるレッスン形態は日本語教室の中でも大事にしたいところです。



サポーターが作成したワークシートを使いながら、学習者から話題を引き出します。

野俣　日本語教室は（日本語運用能力での）レベルに分かれてレッスンが行われることが多いのですが、YOKE 日本語教室ではレベル分けがありません。学習者がどのような人かサポーターと確認したうえでグループを決めます。積極的な人なのか、シャイな人なのかそのようなところを踏まえてグループを作り活動します。学習者にとって「居心地がよい」グループを作っています。このように日本語能力のレベルでグループを分けていないことも特徴と言えます。

高山　レッスンの前に「このテーマについて話をしよう」という内容をサポーターが決め、ワークシートの形で準備し、それをきっかけに話を進めていきます。サポーターの中では「このように進めていこう」と予め考えているのですが、学習者の様子を見ながら話を膨らませるなど、学習者とともに教室を作っていくというスタンスで、レッスンを行っています。

YOKE 日本語教室（みなとみらい教室）開催時の様子

学習者はどのような人ですか？

野俣　いろいろな方がいらっしゃいます。レッスンが昼間に行われるので、子育てをしている主婦または、女性の仕事に伴って一緒に来日した男性で「主夫」として子育てをしている方もいます。他には、日本人と結婚された方です。

学習者の出身国・地域の傾向はありますか？

高山　コロナ禍になってからは入国できる人が限られていたこともあり、タイ、ベトナム、中国、韓国といったアジア出身の方が多くなりました。最近では入国制限も緩和されて、もっと幅広い国・地域の方が参加するようになりました。

野俣　今期（2022 年度 I 期）は、アメリカ、メキシコ、カナダのように近年はいなかった国・地域の方が集まってきています。

新型コロナウイルス感染症（コロナ）が始まる前はどのような感じでしたか？

野俣　コロナ前、YOKE 日本語教室の定員は 30 名でした。そのうち、多い時には 18 か国・地域の人が集まっていました。当時、出身国・地域はバラエティに富んでいて楽しかったです。

YOKE 日本語教室は「伝える」ことを大切にしている点は参加者に伝わっていますか？参加者によって学び方が異なるケースなどありますか？

野俣　YOKE 日本語教室では文法をテキストで文法として学ぶことはありません。日本語の表現として学びます。その点については、参加希望者にお伝えしているので、「文法よりも、教室でコミュニケーションをとりたい」と思う人が集まってはくるのですが、レッスン の様子を見ていると人によっては非常に論理的に勉強したいと思う方もいらっしゃいます。

高山　そうですね。

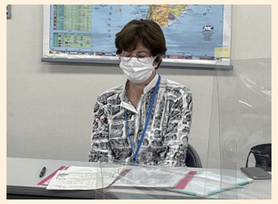
野俣　そのような方は、サポーターがテキストを紹介して自ら勉強しているようです。よく「ゼロビギナー」と言われるのですが、「決して『ゼロ』ではない」というのが私たちの考えです。学習者は大人ですし、自分の母語を持っているので、「母語で伝えたいこと」を引き出すことがまずサポーターの役目となります。日本語で伝えられない場合は、絵を使ったり、描いたりする方法もあります。今はスマートフォン（スマホ）があるので、スマホで写真を見せたりするなど何らかの媒体を使ってコミュニケーションをとるようにしています。学習者の母語で単語程度のものを話すこともあるのですが、言葉よりは実物を見せながら進めることがほとんどです。学習者も自ら調べて「このこと」と伝えてくれるので、その場合は「これは〇〇ですよ」と言って日本語につなげています。

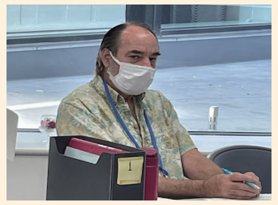
小さな積み重ねを繰り返していくことで日本語の単語を覚えて、言葉につながって話すことができるようになっていくのですね。初めて日本語を学ぶ人が教室に入った場合、入った直後と教室が終了する頃では学習者にどのような変化がありますか？

野俣　（今現在は教室が）15 回しかないので劇的な変化はみえづらいのですが、学習者の「気持ちの変化」が大きいかなと思います。教室の最後に「今日は何を学んだか」を書くノートがあるのですが、ある人は最初全部母語で書いていました。その後、ひらがなで書くようになり、単語だけだったのが文章になっていきました。最初は自分の国の言葉に頼るのですが、次第に「自分で書いてみよう」思うようになったり、私に会ったとき知ってる日本語で声をかけてくれたりします。教室が始まった当初ははずかしそうにしていた方が、「お元気ですか？」などと段々と声をかけてくれるようになります。

高山　私はオンライン教室を担当しています。オンライン教室に日本語初心者の方はいないのですが、初めはとても緊張していて声も小さい、日本語をある程度わかっていてもなかなか話せなかった人が、終わりの頃になるとわからない言葉があっても積極的にしゃべるようになった印象はありました。

オンライン教室の様子





オンライン教室では大勢が参加していても話題が１つになってしまう傾向にあり、対面のような自由は会話が難しいと思われます。オンライン教室では、何か工夫をしていますか？

高山　対面ですと学習者同士が気軽におしゃべりできて仲良くなりやすいのですが、オンラインですとサポーターと学習者のやり取りになりがちです。そこをサポーターが工夫をしています。例えばサポーターから「(学習者) A さんから（学習者）B さんに聞いてください」という呼びかけをして、その質問内容でお互いのことを知る「しかけ」を作ったりしています。私自身、学習者同士がどこまで仲良くなっているか知りませんでした。前期のオンライン教室最終日に、学習者だけ残って自由に話すことができるよう、終了後もしばらくオンラインミーティングを開いた状態にしていました。学習者のうち、4 名が残って 1 時間くらいずっと日本語で話していました。

4 人は日本語で話していたのですか？

高山　母語の共通言語がない4人だったので、日本語でコミュニケーションをとっていました。長い間話していたので、そこで私も学習者が仲良くなったことを知ることができました。そして、学習者から「コミュニケーションをとりたい」という気持ちを感じ取ることができました。昨年度はコロナ禍で教室の回数を、20 回から 12 回に減らしました。その最終 12 回目での出来事でした。

対面で教室を行ううえでの課題はありますか？

野俣　コロナになってからはマスクをしているのでサポーターは学習者の表情がわからなくなりました。学習者はサポーターの口元が見えなくなりました。特に入門の人はサポーターの口元を真似して発音することがあるとのですが、それができなくなりました。また、教室開催中は距離を取らないといけなくなりました。コロナ前はお互い近づいてすごろくゲームのような遊びをしながらひらがなを覚えることもできていたのですが、それができなくなったのは残念です。

コロナ禍であっても対面で教室を開催する良さは何ですか？

野俣　対面ですと実際にこちらに来て教室に参加するのですが、少し早く到着した人がエレベーターホールのソファで教室が始まるのを待っているんですね。徐々に何人かが集まる形になって、その様子を見ていたら日本語で話をしているんです。教室が終わった後もバラバラに帰るのではなくて、仲良くなった人が仲間を待っています。日本語が上手かといえば必ずしもそうではないのですが、彼らの共通言語は日本語しかありません。A さん「電車？」B さん「うん」、A さん「帰る？一緒」と言って一緒に帰って行く、そこの余白の部分は私たち主催者やサポーターが関われない部分であり、そこはとても大事なのではないかと思いました。

オンライン教室の良さはどのようなところですか？

高山　気軽に参加できることです。子育て中の方も多く参加しています。参加中もお子さんが側にいて、様子を見ながら参加できます。教室に通うことが難しい人も参加できることも良いことかなと思います。また、マスクなしで参加できるので、お互いの表情がよくわかること。家にあるものを見せながら話ができることも良いことだと思います。

反対に、オンラインで大変なことや難しいことはどのようなことですか？

高山　工夫はしているのですが、学習者同士の交流が行いにくい感じがします。サポーターが一方的に教えるような進め方にしないようにしているのですが、どうしてもサポーターが順序立てて進めていくようになりがちです。そのような中でも工夫をするようにしています。

対面の場合は、サポーターがリードしなくても学習者同士話すことができる雰囲気ですか？

野俣　その場の雰囲気を見て、「今話している学習者 2 名がそのまま話していても大丈夫かな？」と判断するなどその場の空気が伝わってくるので、サポーターがリードする必要がなく、その場を見守ることが対面では可能になってきます。時々サポーターがリードすることはありますが、学習者同士の話が盛り上がればそのままにしてサポーターは見守り役になれるのは対面の良さだと思います。

現在、ＹＯＫＥ日本語教室は対面とオンラインの２通りで実施していますが、今後各教室でやってみたいことがありましたら教えてください。

野俣　コロナ禍前、YOKE 語学講座（現在は「YOKE 外国語コミュニケーション講座」）の学習者をお招きして「ビジターセッション」を開催していました。日本語を使った一般市民のみなさんとの交流は、今思い出してもとても良かったです。（YOKE 語学講座の）学習者は一般の方なので語彙を調整せずに話をされるのですが、（YOKE 日本語教室の）学習者にとっては「普通の日本人と話した」経験になります。サポーターは学習者へ「わかりやすい日本語」で話かけますが、いざ町中に出るとそのような日本語は使われず、早い口調の日本語を聞くわけです。そのような日本語を聞いて、1 つでもわかったら嬉しいという経験ができることが（YOKE 日本語教室の）学習者にとっても楽しい時間でした。ですので、コロナが終息したら再び一般市民の方をお招きして交流の場を持ちたいなと思っています。

コロナ禍以前実施していた「ビジターセッション」の様子

対面教室では全 15 回のうち、1 回オンライン教室とつないで「合同活動」を行っています。そこでは自己紹介や得意なことをやっています。先日はヨガが得意な学習者がいてオンラインで一緒にヨガを楽しみました。このような取組みをもう少し拡大して、ゲーム感覚での日本語遊び的なものができないかなぁとサポーターと話しています。

高山　コロナが落ち着いてきたら、みんなで会う機会を作れたら楽しそうですね。先ほど野俣さんも言っていましたが、一般市民との交流をオンラインでも工夫をしたらできそうかなと思います。今は外部の方をお招きしたイベントはできていないのですが、今後はそのようなイベントもできたらおもしろそうだなと思います。

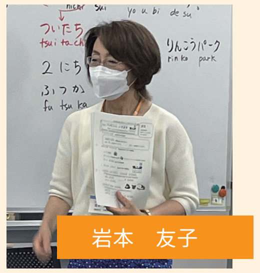
野俣　恭子（のまた　きょうこ）
日本語学習コーディネーター。企業での日本語教育、市内ラウンジで日本語ボランティアとして活動後、2011 年 YOKE 入職。YOKE 日本語教室や外国につながる子ども・若者支援事業を担当。

高山　麻紀（たかやま　まき）
日本語学習コーディネーター。他地域の国際交流協会で留学生との交流事業、日本語教室立ち上げに携わった後、2019 年 YOKE 入職。YOKE 日本語教室、外国につながる子ども・若者支援事業などを担当。

「YOKE 日本語教室」の新しい担当です！

5月よりYOKE に勤務している日本語学習コーディネーターの庭山恵太です。前職は日本語教師をしていました。YOKE 日本語教室で勉強することで、日本での生活や日本語を使うことへの不安が少しでもなくなるようサポートしていきたいと思っています。
これからよろしくおねがいします。

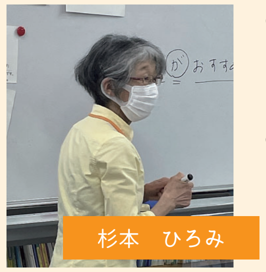
YOKE 日本語教室（みなとみらい教室）サポーターに聞きました。
①教室で大切にしていること　②これから教室でやっていきたいこと



①
リラックスして発話できる和やかな空気を大切にしています。学習者の言葉を必ず拾い上げて返すこと。脱線しても学習者中心でさらに話題が広がってほしいと思っています。
②
教室から社会を広げること。現在はイベント紹介にとどまっていますが、例えば「文化紹介」や「近隣の日本の方々との交流」や「世界各地の食や文化」など、教室で小さな交流イベントが再びできるようになってほしいと思っています。

①
(1) たくさんの交流ができる
(2) 友達を作る
(3) 異文化を感じる
(4) お互いに助け合う
②
(1) ロールプレイ活動
(2) プレゼンをする
(3) 情報共有
オンラインの授業の場合では、Google map のストリートビューを活かして学習者に日本の町案内をしている教師もいると聞いており、いつかやってみたいなと思います。

①
お互いの〝ちがい”をよく知り、楽しむことを大切にしています。また YOKE が、どの学習者にも安心して来られる場所であるように教室作りを心がけています。
②
学習者は皆が横浜在住の方で、横浜という共通項で繋がっています。ですから、より横浜での生活が楽しくなるような暮らしに役立つ横浜の情報を皆さんとシェアしていきたいです。また今後、課外活動も計画したいと考えています。



①
(1) 笑顔で話すようにする
(2) 価値観の共有
(3) それぞれの背景を大事にする
(4) お互いの調和を大切にする
②
(1) 多文化共生の実現
お互いの文化を知り、双方向の活動をしていきたい
(2) コロナ禍で制限が多かったですが、これからは with コロナでイベントも取り入れていきたい。

YOKE 日本語教室（みなとみらい教室）参加者の声

これはとてもたのしいです
C'est très intéressant de rencontrer des étudiants de culture différente et d'apprendre le japonais ensemble.

いろいろな文化背景を持つ学習者とこの教室で出会い、日本語を学ぶことは楽しいです。

はしめますだ：
大家好！
很高兴可以有机会学习日语！
老师们都在很努力的教习。
希望我能快说出日生活日语。
谢谢

皆様、こんにちは。教室に参加することができて、とても嬉しいです。先生たちは一生懸命に教えてくれます。日本語で日常会話ができるよう、希望しています。

The teachers are very ~~patie~~ kind and have a lot of patience for the students. Good place to meet new people since moving here.
たのしい

先生たちはとても親切で、とても根気強く教えてくれます。ここに引っ越しをしてから、人に会うことができる良い場所となっています。たのしいです。

las clases son muy interesantes y divertidas!
Aprendemos mucho y tambien tenemos la oportunidad de hacer nuevos amigos :)

クラスは、とてもおもしろくて（興味深くて）楽しいです！たくさんのことを学んで、新しい友だちができる機会にもなっています。

Teachers are very Patient and Let Every one go At Thier own Pace.
Its fun To Learn With other students

先生たちはとても根気強く、どの生徒も自分のペースで学ぶことできます。他の学習者と一緒に日本語を学ぶことが楽しいです。

课堂上，老师非常用心，照顾所有学员的进度
课堂氛围非常好，老师解释的很详细，
让人很放松的就进入学习环境。
说、听、写都能很好的控制时间。
非常感谢各位老师的用心。

授業ではすべての生徒のレベルに合わせるよう、先生たちはとても気を遣ってくれます。教室の雰囲気はとても良いです。先生が分かりやすく説明しますので、リラックスした状態で学習環境に入ることができます。話す、聞く、書く練習では、時間のコントロールがよくできています。先生たちのお気遣いに大変感謝しています。

Teachers in our YOKE Japanese Language class are very welcoming, energetic, and patient. They always entertain every question to help us improve our Japanese.

YOKE 日本語教室の先生たちは、私たちをとても温かく迎えてくれます。熱心で根気強い方たちです。私たちの日本語が上達するよう、いつも質問を工夫してくれます。

我非常喜歡這裡上課的氣氛。
老師非常的好非常的有耐心。
同學也非常活潑有趣。我很開心
可以加入這個課程，愉快地
學習日文。:)

教室の雰囲気がとても好きです。先生がとても優しくて親切です。クラスメイトも活発でおもしろいです。教室に参加し、楽しく日本語を学ぶことができて、大変嬉しく思っています。

"WATASHI WO NIHONGO BENKYO MASU" - I enjoy the CLASS. ITS A GREAT WAY TO UNDERSTAND JAPANESE LANGUAGE CULTURE & CONVERSATION. HIGHLY RECOMMEND!

YOKE 日本語教室は楽しいです。日本語や文化、会話を理解するために良いやり方だと思います。とてもおすすめします。

このクラスはとてもたのしいです
ありがとうございます

YOKE 日本語教室概要

みなとみらい教室（対面）

日本語を初めて勉強する人、対面で日本語を勉強したい人におすすめです。
開催時期　Ⅰ期（５月～７月)、Ⅱ期（10 月～ 11 月)、Ⅲ期（2 月～ 3 月）
開催日時　毎週月曜日と水曜日　10：30 ～ 11：45
回数　全 15 回
人数　10 人程度（レッスンは 5 人くらいのグループで行います。）
参加費　7,500 円（教材費込み）

オンライン教室

日本語を少し話すことができる人、自宅から参加したい人におすすめです。
開催時期　Ⅰ期（4 月～ 6 月)、Ⅱ期（9 月～ 11 月)、Ⅲ期（1 月～ 3 月）
開催日時　毎週月曜日と水曜日　10：00 ～ 11：15
回数　全 15 回
人数　10 人程度（レッスンは 3 ～ 4 人くらいのグループで行います。）
参加費　7,500 円（教材費込み）

みなとみらい教室・オンライン教室、どちらも、申込み後にインタビューがあります。

申込み・問い合わせ　電話　045-222-1173（11 言語対応）

YOKE 日本語教室 2 期開講予定　オンライン教室　9 月～、みなとみらい教室　10 月～
詳しくはホームページをご覧ください。https://www.yokeweb.com/nihongkyoshitsu/

ysf-SDGs に国際機関と共に参加しました

THE GLOBAL GOALS

Yokohama Science Frontier High School・Junior High School

2022 年 3 月 23 日、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校･附属中学校で「ysf-SDGs」が開催されました。 YOKE は横浜国際協力センターに入居する国際機関と共に「ysf-SDGs」へ参加。 私たちの現在の取組や課題について高等学校･附属中学校のみなさんにお話する機会をいただきました。

「ysf-SDGs」は、 SDGs に関する問題について実際に取り組んでいる企業や国際機関から話を聞き、 問題に対する理解を深め、 ディスカッション等を通して自分にできることを考えるイベントです。

WFP 国連世界食糧計画 日本事務所（国連 WFP）

WFP World Food Programme

WFP 国連世界食糧計画は、 飢餓のない世界を目指して食料支援を行う国際機関です。

WFP 国連世界食糧計画 日本事務所（国連 WFP）の分科会では、「SDG s と国連 WFP の食料支援 －飢餓ゼロを目指し私たちにできること－」と題して、 同日本事務所内の認定 NPO 法人 国連 WFP 協会の瀬上倫弘氏がスライドを用いて参加型で講義。 国連 WFP とは何か、 飢餓とは何か、 SDGs と国連 WFP の食料支援、 国連 WFP 協会の活動など、４つの柱について具体例と共に説明がありました。 また、 途中、 大学生インターンの長谷部亜実さん・大岩麗奈さんがファシリテーターとして、 参加体験型のワークショップが行われ、 生徒どうしで熱心に話し合う場面も見られました。 最後の質疑応答では、 中学生や高校生から次々と質問が寄せられていました。

国際連合食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所

1945 年の設立以来、 FAO は農業開発と栄養改善を促進し、 食料安全保障を追求することで、 世界の貧困と飢餓の撲滅に取り組んでいます。

国際連合食糧農業機関（FAO）の分科会では、 駐日連絡事務所の上本リエイゾン・オフィサーによる FAO に就職するまでの体験談や活動内容を中心とした話がありました。 国際機関へ就職するためには、 専門知識を身につけること、 語学力を磨くことなどのアドバイスがありました。 FAO は農業のみならず、 漁業や林業、 地域振興も対象に活動をしており、 農業生産や、 生活、 栄養、 環境の 4 項目をより良くすることを目標に 10 年計画を策定しました。 最近では、生産性向上から農地、 市場、 貯蔵、食品ロスまで持続可能な食料システムの構築を目指し活動をしています。 真剣に話を聞いてメモをとる生徒の姿が見られ、 特に国際機関への道に興味を示す生徒から熱心な質問があったのが印象的でした。

ITTO 国際熱帯木材機関（国連条約世界本部）

ITTO

ITTO は熱帯林資源の保全と持続可能な経営、 利用、 貿易を促進している政府間組織です。

国際熱帯材木機関（ITTO）の分科会では、「持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた熱帯林の役割」と題して、 広報担当官のラモン氏が英語でスライドを用いて講演し、 総務アシスタントの赤間氏が日本語に通訳を行う方法で開催されました。
世界の森林の状況の紹介と、 森林に関わる生産国と消費国合計 74 か国が ITTO 会員であること、 ITTO の活動が SDGs の多くの目標とつながっていることを具体例を挙げながら説明がありました。 終了後、 生徒から森林保護・木材の有効活用について個人としてどのような活動が期待されるかなど質問も積極的に寄せられ、 関心の高さをうかがうことができました。

横浜市多文化共生総合相談センター 相談の現場から

Q&A

Q 日本語クラスを探しています。 自宅に近く、 あまり費用がかからないところを希望しています。（ネパール語での相談）

A 日本語を学ぶところには、 日本語学校などのほか、 たくさんのボランティアによる日本語教室があります。 YOKE のホームページでは、 営利を目的としない「日本語・学習支援 教室データベース」(https://yokeweb.jp/) を公開しており、 日本語・英語でお住まいの近くの教室を検索することができます。 こうした教室では、 費用は無料～ 1 回 500 円程度など、 安価で学ぶことができます。
それぞれの教室には特徴がありますので、 レベル（入門・初級～）や目的（日常生活のため、 就労のため、 日本語検定試験など）、 授業形態（グループ / 個人レッスン、 対面 / オンライン）など、 ご自分のニーズにあった学び方を相談してください。
日本語・英語での検索や各教室への問合せが難しい場合は、 横浜市多文化共生総合相談センターが教室探しをお手伝いしますので、 お気軽にご相談ください。

横浜市多文化共生総合相談センターでは、 外国人のみなさんからの質問に 11 言語で対応しています。
お気軽にご連絡ください。 **電話 045-222-1209**

ウクライナ交流カフェ　ドゥルーズィ

※ドゥルーズィはウクライナ語で「ともだち」という意味です。

Українське кафе ”ДРУЗІ”

戦禍から逃れてきたウクライナ避難民のみなさんが安心して過ごせる場所であるように…

横浜市は、 ウクライナから横浜に避難されて来た方々への支援を「オール横浜支援パッケージ」として展開しています。このパッケージの一環として、横浜市は 2022 年 4 月 28 日に「ウクライナ交流カフェ ドゥルーズィ」をオープンしました。YOKE はこのドゥルーズィの運営を横浜市から受託しています。

避難民どうし、 または避難民と横浜市在住のウクライナ人が交流や情報交換を行い、 必要に応じて YOKE が開設しているウクライナ避難民支援相談窓口での相談対応や横浜市の支援につなげ、 避難民の方々が生活していくうえで必要となる日本語の学習についてお手伝いをしています。

避難民の方々は、 戦禍を逃れ、 ようやく横浜での生活をスタートさせたところです。当面の間は、 以上のようなご支援をするとともに、 安心して寛いでいただける場としてドゥルーズィを運営していきます。

今後、 ドゥルーズィが支援から交流の場へと、 徐々にその役割を広げていく中で、 皆様と交流していただける企画を検討していきたいと考えております。

≪ウクライナ交流カフェ　ドゥルーズィ　概要≫

開設場所　パシフィコ横浜　横浜国際協力センター５階
（横浜市西区みなとみらい１－１－１）

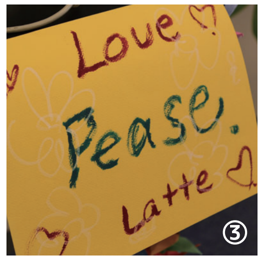
開設日時　月曜日～金曜日　10：00 ～ 17：00
第２・第４土曜日　10：00 ～ 13：00
※受付はそれぞれ終了の 30 分前まで

ウクライナ避難民支援を希望する方はこちらからご連絡ください。

市民・企業の皆様からの、ウクライナ避難民への支援
お申し出フォーム／横浜市

https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/6ae8efc1-b06b-4134-b271-c393cb14dc89/start

①

②


③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

写真　①ドゥルーズィのオープニングでウクライナ避難民と山中市長懇談の様子　②ドゥルーズィで遊ぶ避難民の子どもたち　③1 日も早く平和なウクライナが戻るように　④ボルシチを食べながらの懇談　⑤ドゥルーズィ案内　⑥ドゥルーズィのパネルに絵を描く子ども　⑦横浜市が作成した T シャツ　⑧避難民のみなさんへドゥルーズィについて説明　⑨5 月 27 日開催　日本語ワークショップ「6 月のカレンダーを作ろう」での様子